

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 火 3	必修選択 必修	単位数 1
授業科目 (英語名)	中国語 Chinese		
対象年次 2 年次	講義形態	演習	教室
対象学生(クラス等) 2K 25	科目分類	外国語科目(中国語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 連清吉 / lien@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部/オフィスアワー:火曜日14:30 - 15:50			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業ねらい 1, 中国語の発音と基本文法を一通り終えたうえ、より実用的な会話を身につける授業を目指す。 2, 日常生活状況を中国語で表現できるようにする。 授業方法 1, 基本文型を取り上げて、そして会話の場面を設定し、そのまま会話で使える表現力を学習によって着実につけようとするのであります。 到達目標 1, 改革開放後の中国における衣食住など人々の日常生活様子を会話の学習に通じて、中国の最新情報を理解する。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 中国の旅に出て、中国語を使って中国の人たちと交流してみよう。中国へ旅する交通機関の利用・道 を尋ねる方・電話をする・買い物をする会話を取得できるようにする。 1回目 タクシーを拾う 2回目 仮定の表現 3回目 テスト1 4回目 道を探ねる 5回目 予定を聞く 6回目 テスト2 7回目 バスに乗る 8回目 「了」を用いる仮定条件文 9回目 テスト3 10回目 電話をする 11回目 受け身の表現 12回目 ホテルにて(2) 13回目 買い物をする 14回目 値段の交渉 15回目 定期考査			
キーワード	自己紹介 中国を旅する		
教科書・教材・参考書	『実用中国語会話』(呉川等、郁文堂)		
成績評価の方法・基準等	1, 授業への積極的な参加状況・小テスト 60% 2, 定期試験 40%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標	関係する専門科目, 資格等: 中国語検定試験4級合格		
備考(準備学習等)	現在中国の社会状況		